

研究課題名	小児1型糖尿病患者に発生した糖尿病性ケトアシドーシスにおける初期インスリン投与量の検討
研究の意義・目的	小児の1型糖尿病患者において、糖尿病性ケトアシドーシスは重い合併症で、その頻度は高く、点滴内容やインスリン投与量、カリウム製剤の投与速度などについては、まだ定まった方法はありません。過去の論文や当科の経験で、十分なインスリン投与を治療の始めから行うことで、早く治療ができることが示唆されています。そこで我々は、糖尿病性ケトアシドーシスについて、当科の過去の治療経験を、初期インスリン投与速度とケトアシドーシスの消失との関連性を中心に系統立てて調査することとしました。本研究の結果は、糖尿病性ケトアシドーシスにおける基礎的な資料となることが期待されます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2023年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	調査開始時点で2008年11月から2018年10月の間に、当科で1型糖尿病患者として治療を受けている患者のうち、糖尿病性ケトアシドーシスとして治療を受けた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、検査データ、治療内容】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院発達小児医学科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院発達小児医学科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 発達小児医学 研究責任者 川村智行
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	郵便：〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 電話：06-6645-3816 川村智行、柚山賀彦